

1 ま え が き

大変遅れましたが、農林工学系年報第6号（平成5・6年度）をお届けいたします。本年報は、農林工学系教職員の研究教育活動・管理運営・社会的活動等の詳細を把握できるように整理されたものです。本学系の活動状況を、多くの方々に理解していただくとともに、学系教職員の自己評価と将来に向けての発展のための参考になれば幸いです。

平成5年度のバイオシステム研究科設立を皮切りに、平成6年度には農林学類より生物資源学類への名称変更とカリキュラムの大改編、農学研究科では平成7年度より留学生の定員化、ひきつづき8年度より学園都市内研究機関研究員を対象としたいわゆる大学院リフレッシュ教育課程が始まろうとしており、農林工学系を含む農林3学系を取り巻く研究・教育環境は大幅に変化しようとしております。このような状況下において、本年報を学・内外の多くの方々に読んでいただき、農林工学系教職員の活動状況に関する忌憚のないご批判とご教示をお願いいたします。

最後に、本年報の編集にあたり、学系教職員の協力を深謝いたします。

平成8年3月

農林工学系長 吉崎 繁